

① 徳川家康

☆小学校一年 三学期実施

主題 努力する心

A(5) 努力と強い意志

一 醸成したいおかげぎの心

岡崎が誇る偉人徳川家康から学ぶ、自分の心に打ち勝ち、くじけずに努力する心

二 教材 「たけちよ と がくもん」

『岡崎市現職委員会道徳部自作資料』

人質となりながらも、学問に励む竹千代でしたが、ある日、今川家の子息から誘われ、一緒に遊んでしまいます。しかし、通りすがりの侍に「遊んでいていいのか」と諭され、考えます。

駿府での人質時代に、今川の子息たちが勉強をおろそかにしている中、今川の軍師で、僧侶でもある太原雪斎に、聡明さを認められ、学問の手ほどきを受けたという史実をもとに創作しました。

三 本時のねらい

- (1) 人質として生活する中でも、くじけずに努力して、自分を向上させようとした竹千代（家康）の姿に気付かせる。
- (2) 自分の心に負けず、努力しようとする態度を育てる。

四 発問例

発問① 『「いっしょにやらないか」と声をかけられたとき、竹千代はどんな気持ちだったでしょう。』

- ・ どうしようかな
- ・ 今は勉強の時間だから遊ぶのはよくない
- ・ 少しなら遊んでもいいかな
- ・ 楽しそうだし、やりたいな

発問② 『遊んでいてよいのですか』とお侍さんに声をかけられたとき、竹千代はどんな気持ちだったでしょう。』（中心）

- ・ しまった
- ・ 遊んでいたから怒られる
- ・ 何だか恥ずかしいな
- ・ 誘われても遊ばなければよかった

補助発問 「どうして楽しくなくなっただけでしょう。』

- ・ 勉強しなくちゃいけないと思ったから
- ・ やめようか迷っていたから
- ・ 一つお寺の中に戻ろうかと考えていたから

発問③ 「和尚様に手を取って教えてもらったとき、竹千代はどんな気持ちだったでしょう。』

- ・ 途中で戻ってきてよかった
- ・ 教えてもらったって嬉しいな
- ・ 和尚様に教えてもらったことを生かして頑張ろう

（自覚）「今日の学習で、竹千代のすごいなと思ったところや、自分がまねしたいなと思ったところは、どこですか。』

- ・ 遊びの途中で勉強に戻ったところ
- ・ 注意されて反省したところ
- ・ 一人でも一生懸命に勉強したところ